

まちの話題



◀ 迫力満点！提灯山車の曳き廻し



▶ 美しく彩った人形山車と提灯山車。会場は多くの人でにぎわいました。

多久の真夏の夜の風物詩「多久山笠」が8月15・16日の両日に開催。

15日は、あいにくの空模様でしたが、この日を待ちわびた多くの山笠ファンが来場。16日も、はじめ小雨が降る天候でしたが、スタッフ、来場者の祈りが通じ天候も回復。無事にすべてのプログラムが行われ、多くの人でにぎわいました。

山笠の幕を切るのは、多久山笠若衆会による提灯山車の組立競争。「ヨイトサー、ヨイトサー」の掛け声の中、すばやく組み上がる様子に、来場者から大きな拍手が湧きました。

その後、多久駅前を通りを、大きく蛇行しながら迫力満点の曳き廻しで、来場者を魅了していました。

また、戦国絵巻を再現した東西2基の美しい人形山車を、地元の子どもたちが、笛と太鼓が奏でる囃子にあわせ「エンヤ、エンヤ」と掛け声をかけながらゆっくりと巡行し、来場者を楽しませました。

祭の最後を飾るのが、約800発の花火。真夏の夜空を鮮やかに彩りました。

真夏最大のイベント、多久山笠が今年も来場者を魅了了！

第66回 多久山笠

まちなかのリビング「あいぱれっと」がオープン！
多久市まちづくり交流センター竣工式&オープニングセレモニー

多久駅北側に完成した、多久市まちづくり交流センター「あいぱれっと」の竣工式およびオープニングセレモニーを8月6日に行いました。

この施設は、まちなかのにぎわいづくりの拠点となる交流施設として多久市が整備。運営は、指定管理者「一般社団法人たく21」が行います。竣工式では、横尾市長が「この施設が出会い・かたらい・ふれあいの場となり、多くの人が集い・交流する施設にできればと思います。これまで尽力されたみなさんにお礼を申し上げます」とあいさつ。

また、併せて施設の愛称募集で最優秀賞に選ばれた友久健さん（神奈川県鎌倉市）ほか優秀賞3人の表彰も行われました。

その後、多久ロータリークラブから創立30周年記念事業として時計台が多久駅前広場に設置され、その贈呈式と除幕式も行われました。

式典後、ポルダリングの実演指導や趙勇氏による揚琴の演奏会、多久孔子の里獅子舞、ご当地キャラ大集合などさまざまな催しで、施設のオープンを祝いました。



▲竣工式でテープカットを行う（写真左より）飯盛康登 多久市まちづくり協議会会長、淵上副市長、横尾市長、山本議長、中野建設中野武志社長



▲多久ロータリークラブのみなさんと贈呈された時計台



▶ 多久翁さんも参加した、ご当地キャラ大集合！オープンを祝いました。

8/16 Sat.

東部太鼓が「真夏のパワフルステージ」で躍動！



イオンモール大和で行われた、大和の風物詩「第5回納涼盆まつり」で、多久東部太鼓が見事なパフォーマンスを披露しました。

このステージは、佐賀県内で活躍しているグループや団体が出演しており、多久東部太鼓は、今年で3回目の出演。この日は、曲目も新たに4曲を披露し、オープニングを飾るとともに、多久市をPRしました。

演奏後のインタビューでは、石丸由也さんと古賀琴巳さんが太鼓の魅力などを聞かれ「太鼓の魅力は、心に響く音です。みなさんに聞いていただけて嬉しい」と話しました。

8/11 Mon.

『多久市ふるさとハローワーク』がオープン！



8月6日にオープンした「あいぱれっと」に多久市地域職業相談室が「多久市ふるさとハローワーク」に名称を変更し、移転オープン。その開所式が行われました。

開所式では、厚生労働省佐賀労働局職業安定部向山和紀部長が「地域の視点で、施設に見合う相談業務・支援を行います」とあいさつ。9時の始業にあわせテープカットが行われました。

これまで、多久市ふるさとハローワークの利用は、月平均70～80人の利用があり、就職は月平均50人。全国平均を約2倍上回る就職率です。更なる就労支援に期待が膨らんでいます。